

# 学習課題（小学校1年生）

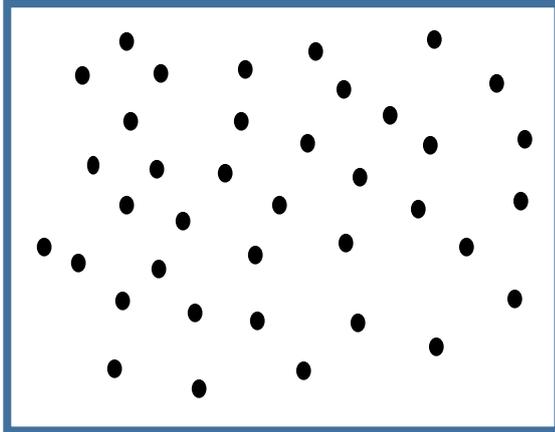
【さんすう】※は べんきょうするときの ヒントです。

＜学習内容＞

◆「大きなかず」（きょうかしよ 142～157 ページ）

1 あさがおの たねは いくつあるでしょうか。

3かい かぞえてみましょう。 ※ かぞえまちがいを なくすには、  
いくつずつの まとまりを つくると  
かぞえやすいか かんがえよう。



<input type="text"/>	<input type="text"/>
十の くらい	一の くらい
<input type="text"/>	

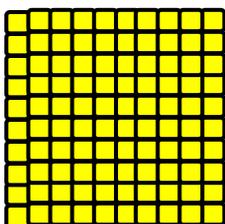
きょうかしよ 144～147 ページの  
1から3のもんだいを  
ノートや とりくみシートに  
といてみましょう。

3 ビーズは なんこ あるでしょうか。

※きょうかしよ 147 ページの おはじきの えを見て 10 の まとまりごとにかぞえよう。

こたえ ビーズは  こ

このかずに あと 1こ ふやすと どうなるかな。

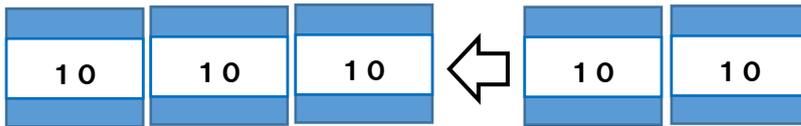


10が10こで <sup>ひゃく</sup>百といい、  
100 とかきます。  
100は99より 1大きい  
すうじです。

きょうかしよ 150～153 ページの  $\boxed{5}$ ～ $\boxed{12}$  のもんだいを  
ノートやとりくみシートに できるだけときましよう。

7

おりがみを 30まい もっています。  
そこへ 20まい もらいました。  
ぜんぶで なんまいに なったでしょうか。



しき

こたえ

どのように かんがえたか ノートやとりくみシートに  
かいたり おうちの人に せつめいしたりしよう。



※「3+2をして、さいごに0をつける」という  
ほうほうで けいさんできるのは どうしてかな。

なん十 + なん十 のけいさんは、  
10のまとまりが いくつあるかを かんがえると  
かんたんに けいさんできるね。

きょうかしよ 154～155 ページの  $\boxed{13}$ ～ $\boxed{16}$  のもんだいを  
ノートやとりくみシートにときましよう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆大きな かず（教科書 P142～157）

- ・100 未満の数や、100 より大きい数について、数を表したり、比べたりする学習です。  
「10のまとまり」がいくつあるか考えるなど、「一の位」「十の位」といった十進法の基礎を学びます。これは、2年生以降の3けたの数、4けたの数の学習につながります。
- ・子どもは  $30+20$  の計算で「 $3+2=5$ 。5に0をつけて、50。」と考えますが、「なぜ  $3+2=5$  という計算が成り立つのか」ということを考え、自分の言葉で説明できるようにすることで、手続きだけではなく、意味の理解を伴った知識として定着します。